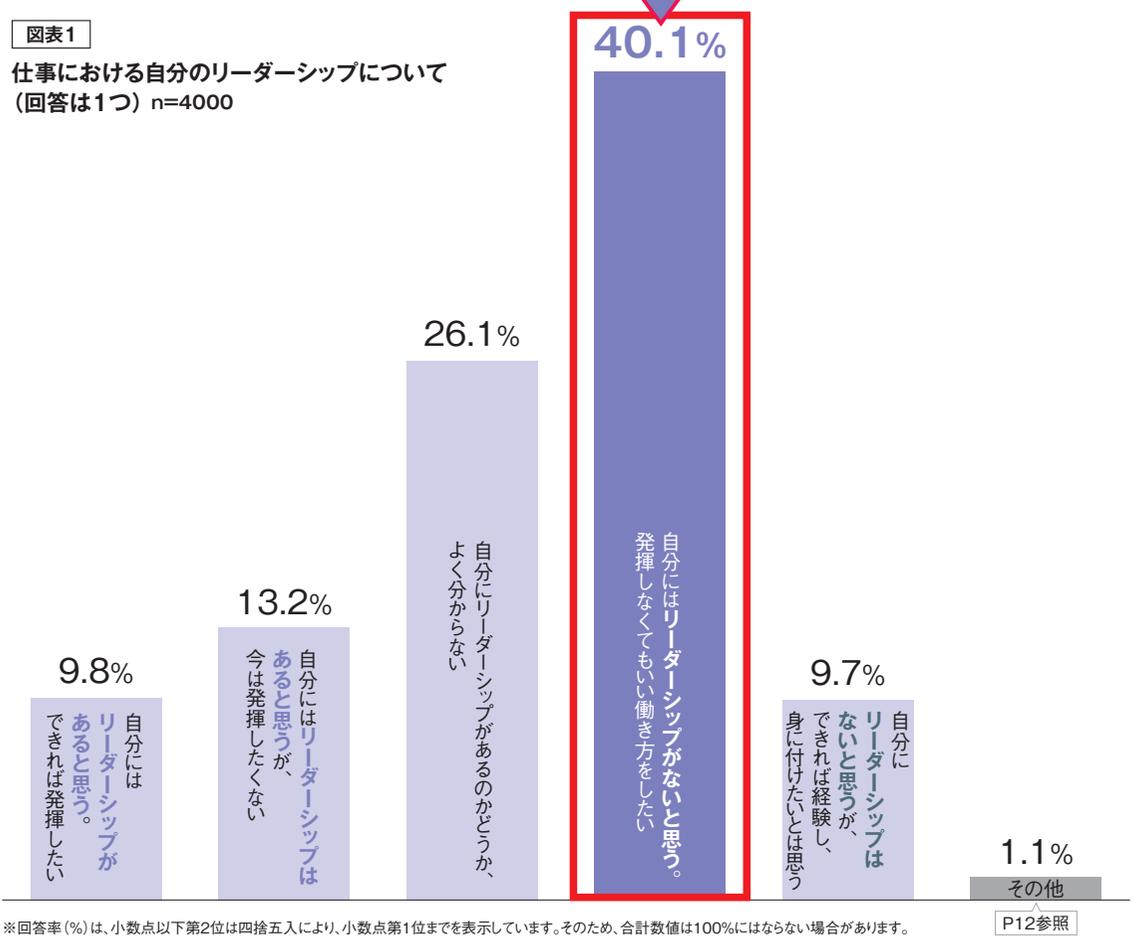


派遣という働き方と リーダーシップの関係

「自分にはリーダーシップがないと思う。
発揮しなくてもいい働き方をしたい」が40.1%

図表1

仕事における自分のリーダーシップについて
(回答は1つ) n=4000



※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。

■調査概要■

- 実施期間・・・2023年9月22日～27日 ●有効回答数・・・4000人 ●男女比・・・男性1320人(33.0%)、女性2680人(67.0%)
- 年齢比・・・10代:5人(0.1%)、20代:339人(8.5%)、30代:841人(21.0%)、40代:1396人(34.9%)、50代:1419人(35.5%)
- 雇用形態・・・有期雇用:2695人(67.4%)、無期雇用:1305人(32.6%)

※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。

一方で、「派遣という働き方を続けていたら、
仕事でのリーダーシップが養われない
ことに不安を感じる」などの声も



「一生派遣で働く」というのも、働き方の選択肢の一つではある。しかし、将来は派遣スタッフではなく、正社員として働きたいと考えている人であれば、いずれは部下を持ち、指導、人材育成などのマネジメントスキルも求められよう。派遣スタッフとして働き続けることは、マネジメントスキルの向上、つまりリーダーシップの醸成という観点からはどうなのか。もちろん、リーダーシップを発揮するのは苦手だからあえて「派遣で働く」という道を選択した人もいるだろう。ならば、当事者である派遣スタッフに聞いてみたい——あなたにとっての「派遣という働き方とリーダーシップ」とは? (本誌 伊藤秀範)

図表2 業種・職種別 仕事における自分のリーダーシップについて(回答は1つ) n=4000

	自分にはリーダーシップがあると 思う。できれば 発揮したい	自分にはリーダー シップはあると 思うが、今は 発揮したくない	自分にリーダー シップがあるのか どうか、 よく分からない	自分にはリーダー シップがないと思う。 発揮しなくても いい働き方をしたい	自分にリーダーシップ はないと思うが、 できれば経験し、 身に付けたいと思う	その他
全体平均	9.8%	13.2%	26.1%	40.1%	9.7%	1.1%
事務(一般事務・総務事務・ 営業事務など)	8.3%	11.5%	26.2%	42.9%	9.9%	1.1%
専門事務(経理事務・ 貿易事務・金融事務など)	20.7%	19.8%	25.6%	26.4%	6.6%	0.9%
テレマーケティング	12.8%	23.9%	25.0%	25.6%	11.7%	1.1%
研究開発・メディカル	15.5%	15.5%	27.8%	36.1%	5.2%	—
販売・接客	11.1%	15.1%	32.0%	35.1%	5.3%	1.3%
営業	23.8%	27.5%	23.8%	17.5%	6.3%	1.3%
IT・エンジニア	18.8%	15.7%	23.0%	31.9%	9.4%	1.0%
クリエイティブ	6.0%	14.0%	28.0%	42.0%	8.0%	2.0%
製造・軽作業	6.4%	10.8%	24.7%	45.2%	11.9%	1.0%
保育士・介護士	10.0%	11.3%	28.8%	46.3%	3.8%	—
その他	6.3%	11.3%	27.5%	42.1%	10.8%	2.1%

※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。

「自分のリーダーシップ」について 派遣スタッフ自身はどう思っているのか？

リーダーシップを発揮できない「派遣という働き方」に限界を感じる人も

派遣でリーダーを 務めるケースも

「第1回」日本でもいちばん大切にしたい会社」大賞の中小企業庁長官賞など、数々の経営賞を受賞している日本リーダーという会社がある。

同社の近藤宣之会長には何度かインタビューをしているが、「うちでは、派遣社員でリーダーを務めている人もいます」という言葉が強く記憶に残っている。

5年前に取材した本誌2019年1月号の編集長インタビューでは、以下のようなことを書いている。

「日本リーダーでは国籍、年齢、性別、学歴を問わず、異質な人材、多様な人材を採用している。もちろん、その中には派遣社員も含まれる。そして派遣社員の立場で、各部署のリーダー(責任者)を務めるケースも珍しくはない。現在の経理課長も、派遣社員時代は経理の責任者をしてきた。それは同社の組織体系がフラットで、部長、課長という肩書は職位呼称ではなく、資格呼称に過ぎないことによる。実質的には、役員と一般社員

図表1 の「仕事における自分のリーダーシップについて」で、「その他」を選択した人の主なコメント

- 「リーダーになる機会があったら、試しにやってみてもいいかなと思う程度」(29歳女性・神奈川・大手派遣)
- 「リーダーとしての働きを賃金に反映されるなら」(37歳男性・東京・大手派遣)
- 「リーダーではなく、ナンバー2を目指している」(47歳女性・神奈川・中小派遣)
- 「経験済みなので、必要がない立場でいたい」(47歳女性・石川・中小派遣)
- 「個人で仕事をしたい」(49歳女性・大阪・大手派遣)
- 「自分にはリーダーシップがあると思うが、発揮したいかどうかは状況による」(51歳男性・静岡・中小派遣)
- 「やれと言われればできるが、発揮したくない」(54歳女性・愛知・中小派遣・事務)
- 「リーダーシップを発揮するよりは、縁の下の力持ちでいたい」(51歳女性・神奈川・大手派遣・事務)
- 「自分にリーダーシップがあるうとなかろうと、仕事でリーダーになるというのは大変なことなので、やりたくない」(55歳女性・東京・中小派遣・事務)

の二層構造で、一般社員は自分の判断で自主的、積極的に仕事をし、仕事の幅も自分でどんどん広げていく。同社の近藤会長にあえてこんな質問を試してみた。「派遣社員の人がその後、正社員になって働き方に変化はありましたか?」。近藤さんは「当事者意識です。この違いが派遣社員時代からの大きな変化です」と語った。

そこで本誌は2023年9月、4000人の派遣スタッフに「リーダーシップ」についてのアンケート調査を実施した。今回はプレ調査であり、質問数も少ないが、

派遣スタッフのリーダーシップに関する志向性だけではなく、「派遣という働き方とリーダーシップの関係」におけるメリットとデメリットについて、関連データを基に見ていきたい。

半数が「自分には リーダーシップがない」

特集トビラにある図表1の棒グラフは、4000人の派遣スタッフに「仕事における自分のリーダーシップ」についての質問に対する回答割合である。

あらかじめこちらで用意した回答肢は、「自分にはリーダーシップがあると思う。できれば発揮したい」「自分にはリーダーシップはあると思うが、今は発揮したくない」「自分にはリーダーシップがあるのかどうか、よく分からない」「自分にはリーダーシップがない」と思う。発揮しなくてもいい働き方をしたい」「自分にリーダーシップはないと思うが、できれば経験し、身に付けたい」と思う。他の6つ。

はリーダーシップがないと思う。発揮しなくてもいい働き方をしたい」で、全体の4割の派遣スタッフが選択。「自分にリーダーシップはないと思うが、できれば経験し、身に付けたい」と思う」の9.7%と合わせれば、半数の派遣スタッフは「自分にはリーダーシップがないと思う」と回答している。一方で、「自分にはリーダーシップがあると思う」という派遣スタッフの割合は、「自分にはリーダーシップがあると思う。できれば発揮したい」(9.8%)と「自分にリーダーシップはないと思うが、できれば経験し、身に付けたい」と思う」(9.7%)を合わせた29.5%である。冒頭の日本リーダーのような組織がフラット